

使っている花 ■ ミモザアカシア、  
ランタンキュラス(ラックス アリア  
ドネ)、豆の花



3月  
March



## ミモザ

花言葉 友情／秘めた愛

ハッピーイエロー！

ミモザあふれる南仏の春をイメージして

### プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 花が少し咲いていて、葉の鮮度が良いものを選びましょう。
- 小さな花をたくさん咲かせるため、水だけではきれいに咲けません。必ず切り花栄養剤を使用してください。
- 乾燥に弱いので、霧吹きをかけると良いでしょう。葉にも吹きかけるのがポイントです。

### お家で簡単！3ステップアレンジ

- ① 器に水を注ぎ、適量の切り花栄養剤を加えます。
- ② ミモザの枝を小分けにし、水に浸かる部分の葉は手でしごくように取り除きます。器の口元から黄色があふれるように活けるといっそう素敵です。
- ③ ミモザの中にランタンキュラスをふんわりと添え、豆の花のラインを活かして流れるようにあしらいます。

### 幸せを運ぶ黄色の天使

ふわふわの黄色とハチミツのような甘く優しい香りで、春本番を告げる花。3月8日の「国際婦人デー」、イタリアでは男性が身近な女性に感謝の気持ちを込めてミモザを贈ることから「ミモザの日」とも。南フランスのミモザ祭りは、街道にミモザが降り注ぐ光のように飾られ、パレードは拍手喝采、街中が黄色に染まるそうです。なんてワンダフル！





使っている花 ■ パンジー  
(カルメン)、ミモザアカ  
シア、タラスピオフィアム



3月  
March



## パンジー

花言葉 | もの思い/私を思って

蝶々のようなパンジーを束ねて  
少女のころを思い出す春のブーケ

### プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 切り花で出回るパンジーはとても花持ちが良く、蕾もよく咲きます。
- 茎が短い場合が多いのですが、活ける際は必ず切り戻しましょう。
- 切り花栄養剤を使用すると水が汚れにくく、花もさらに長く楽しめます!

### お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①あらかじめ、パンジー、ミモザの小枝の水に浸かる部分の下葉を取り除き、同じくらいの長さにカットしておきます。
- ②パンジーを数本片手に持ち、花と花がぶつからないよう茎の向きを整えます。パンジーの足元を覆うようにミモザを組み合わせます。
- ③全体のフォルムが丸くなるように整え、アクセントにタラスピオフィアムを長めに加え、全ての茎を輪ゴムか麻ヒモなどでくくり、最後に茎の長さを揃えるようにカットします。切り花栄養剤を加えた水に活ければ出来上がり!

### ひらひらふわり、春ブーケ

美しい蝶のような色彩で、ノスタルジックな雰囲気につつまれるパンジー。名前の由来は仏語「pensée(思考)」で、花顔が物思いにふける人の顔に似ているからだとか。日本の優れた育種力により、大輪八重咲きでフリルが強く丈の長い切り花用パンジーが開発され一躍人気に! 最近ではエディブルフラワーとしても注目を集めています。





使っている花 ■ スカビオサ  
(キング、ラベンダー)、スイートピー(グレース)、パンジー、六条麦

3月  
March

## スカビオサ

花言葉 風情／再起

春のお気に入りさをさりげなく  
ふうわり可憐な草姿に癒されて

### プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 花首がしっかりした、中央部分の花粉がふいていない花を選んでください。家に持ち帰った際花に元気がない場合は、「湯あげ」をして深水にしばらく置いておくと復活します。
- 高温が苦手な花なので、できるだけ涼しい場所に飾りましょう。
- 切り花栄養剤が有効で、日持ちが良くなるうえに花も大きく咲いてくれます。

### お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① 小さな器を複数使用する場合は、あらかじめ適量の切り花栄養剤を希釈した水を用意し、それを器に注ぎます。それぞれの花材の水に浸かる部分の葉を取り除きます。
- ② スカビオサの花が横並びにならないよう、高低差をつけながらランダムにあしらいます。
- ③ 同系色のスイートピーやパンジー、爽やかな六条麦などを軽やかにいければ出来上がり!

### センシャルな花をさりげなく

小花が集まってふわり咲く花姿は、ファンシーに留まらない大人っぽい表情も魅力。初秋の野山に咲く原種の松虫草がなじみ深いですが、様々な品種を周年楽しめます。花弁数が多く、花も大きく、日持ち性も優れた完成度の高い日本のスカビオサは、現在海外でもブレイク中! 個性的なスカビオサの「実」も花材として人気です。





3月  
March

## サクラ

花言葉

精神の美 / 優美な女性

古来から花といえば桜  
桜を飾っておうち花見を楽しみましょう

### プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 木肌が美しく、花数の多い、蕾のふっくらした枝を選ぶと良いでしょう。
- 活ける際は切り戻し、ハサミなどで枝を割りましょう。
- 桜をはじめバラ科の枝ものは、切り花栄養剤を使用することで、花色も美しく日持ちも長くなります。

### お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① 安定感のある器を選び、水を多めに注ぎ、適量の切り花栄養剤を加えます。
- ② 桜の枝を切り戻し、ハサミをマイナスに入れて枝を割ります。コデマリは水に浸かる部分の葉をあらかじめ取り除きます。
- ③ 枝にも表と裏があり、より花が美しく見える側が表になります。枝の向きを意識しつつ、太く大きな枝からいけていくといけやすいでしょう。最後にコデマリをあしめます。

### はんなりと薄紅染まる心の花

麗らかで儂く、ときに幽玄な桜は、私たち日本人の心の花。古代の人々は桜を神と畏れ敬い、精霊が宿る樹と伝えました。促成の啓翁桜や彼岸桜から始まり、春の深まりとともに雅桜、染井吉野、八重桜など様々な品種が出回ります。ランタンキュラスやスカピオサのように、桜の花びらの薄絹のような質感の花を選ぶと相性が良いです。

使っている花  
■ 啓翁桜、コデマリ

Cherry Blossoms

